

## 2024年度 学生・教員懇談会

### Moodle アンケートによる意見に対する回答

文学部学生委員会

いただいた意見のうち、要望の多かったものについて回答しています。すべての意見に答えているわけではないので、ご了承ください。

#### 1. 授業の実施に関すること（感染症対策、メディア授業のシステム、成績評価など）

##### 【授業一般に関すること】

- ・英語の必修の授業で、今は2コースの学生が一緒に授業を受けているが、より多くのコースの学生とも一緒に授業を受けたいです。他のコースの学生と交流する機会があまりないので、授業内で交流できればいいなと思います。
- ・人数が多いので仕方がないかもしれないが、生徒が一方的に聞くだけでなく、主体的に参加できるような授業が増えてほしいです
- ・授業によって、課題設定をオンライン上で先生方がされた際に、メールで連絡が来る授業と来ない授業があるので、すべて来るようになると見落としの心配がなくなってありがたいです。
- ・講義でも、先生からの一方的な話だけではなく、グループで作業する、グループで意見をまとめる等、双方向の講義を期待する。

→学生からの要望を教員間で共有します。なお、メール連絡の有無は授業で使用するオンラインツールによっても変わってきます。

##### 【成績評価に関すること】

- ・成績評価について、疑問に思った時に、例えば自分で想像するより悪い評価だった時に、何がいけなかったのかを先生に尋ねたいと思うが、どのように尋ねたらよいかわからない。単位を落とすという内容ではないけれど、どこが部分が良くなかったからこの評価になったのかを知りたい。

→成績評価についてはシラバスに記載することになっています。まずはそちらを確認してください。さらに通知された成績に疑義がある場合には、『文学部履修案内』に記されているとおり、ターム直後の指定された期間に問い合わせることができます。成績問い合わせについては、『文学部履修案内』（2024年度版 10 頁）を参照してください。

##### 【メディア授業に関すること】

- ・酷暑の中、わざわざ家から出て対面授業に行ったところで、夏バテ状態のまま授業受けて

も意味がないので、猛暑が見込まれる日は基本対面授業の授業であってもオンデマンドに変更できるようにしてほしい。

→メディア授業の割合や回数については全学の方針が定まっています。それを踏まえた上で、教育の現場での適切な運用を検討します。

#### 【Moodle と GoogleClassroom の使用に関すること】

・Moodle と GoogleClassroom の 2 つのツールを使うと、管理が難しいので Moodle に統一してほしい。

・Moodle と Google クラスルームに分けるのではなく一つのシステムに統一してほしい  
 ・課題だけでいいから moodle か classroom かどちらかに統一してほしい。確認漏れが起きやすい。

→「2つのツールではなくどちらか1つに統一してほしい」という要望が多いと理解しました。文学部の教員間で共有するとともに、全学の教務システム管理部署にも要望を伝えます。

#### 【教員の専門分野に関すること】

現在在籍されている文学部歴史学コースの先生方の専門に偏りがあると思われる。日本史に関していえば古代史と中世史を専門とする先生がいないために、たとえば卒論で中世を取り上げたいのに、不本意にも近世近代にテーマを探さざるを得ない学生もいる。大学に入って、自分の興味のあるテーマを掘り下げたいという学生にとって、専門の先生の存在は重要である。専門の先生に指導をしていただけるからこそ大学なのである。その意味では歴史学コースの先生方の専門の幅を広げる陣容にしていきたい。

→教員の人事は大学の方針（予算など）にそっておこなわれているため、現状ではあらゆる分野に教員を配置することは難しいといえます。必要な分野には非常勤講師を優先的にあてるなどの対応をしていますが、バランスの取れた教員人事についてさらに検討します。またみなさんも、専門の教員がいないからといってただちにテーマをかえてしまうのではなく、まずは身近な教員に相談してみましよう。

## 2. 履修・学習全般に関すること（カリキュラム、単位、ポータルなど）

#### 【履修・ポータル・シラバスに関すること】

・学生ポータルのシステムの利用方法が分かりづらかった。（入学したての頃）  
 ・シラバスを一覧で見れるようにしてほしい。

→学務室と要望を共有します。シラバスは全学共通のシステムのため、対応が可能かどうかを含め検討します。

#### 【単位の取得に関すること】

- ・一年で所得できる単位の上限について、上限を超えていても成績は通常通り付いているが、卒業に必要な単位としてカウントされているのか知りたい。
- ・自分の今の状態だと、どの分類カテゴリーの授業が何単位足りないのか、などが分かりやすいといいと思う。
- ・取得単位が卒業要件を満たしているのか不安です。もちろん自分自身でも確認していますが、先生や教務の方と一緒に確認していただきたいです。

→学務室と要望を共有します。対応が可能かどうかを含め検討します。

#### 【集中講義に関すること】

- ・集中講義も取り消しできるようにしてほしい。もしくは集中講義の履修登録の期間をもっと後にしてほしい。人数制限や抽選を設けている講義、1-2ターム連続の講義などは、取り消しは難しいかもしれないが、夏休みの講義を4月に登録して、都合や事情が変わっても変更できないというのはやや不便。2タームの履修変更期間に、集中講義も一緒に変更できたらいいなと思った。
- ・集中講義であらかじめ予定が掲載されていないものや直前にならないと予定がわからないものは予定が分かり次第、履修を削除できるようにしてほしい。

→学務室と要望を共有します。対応が可能かどうかを含め検討します。

#### 【大学院進学に関すること】

- ・私は大学院に進学したいが、メールでは就職活動に関する通知にくらべて、進学に関する通知が圧倒的に少なく、何から手をつけたらいいのかわかりにくい。大学院の情報も通知してほしい。

→進学についてご相談がある場合は、文学部・法政経学部就職相談室をご利用ください。

こちらの相談室は、キャリアや就職をはじめ、進学に対しても相談に応じております。

文学部・法政経学部就職相談室 室長 安孫子 誠男 文学部棟1階119

毎週月・木曜 13:00-17:00 予約先 abiko@faculty.chiba-u.jp

同相談室の情報は、以下のMoodleコースにも掲載されています。ご覧ください。

Moodleコース「2024-文学部（全学年向け）」→「就職・資格に関するお知らせ」

→「キャリア・就職・進学の悩み疑問について」

<https://moodle.gs.chiba-u.jp/moodle/course/view.php?id=39031>

また、千葉大学大学院人文公共学府博士前期課程の、2025年度4月入学の募集要項については、2024年5月に発行され、以下のページで公開しております。ご覧ください。

<https://www.gshpa.chiba-u.jp/admission/doc1st.html>

さらに他大学院の情報を得たい場合は、日本全国の大学院の情報を学問分野別に検索できる民間のWebサイトが複数ありますので、そちらをご利用ください。

- ・大学院入試問題について。過去問をインターネット上に公開するなどして、入試問題への

アクセスを容易にしてほしい。

➡人文公共学府の入試問題には他者の著作物が含まれております。そのため、Web に公開することができません。また、閲覧者による Web 発信を防止するため、写真撮影を禁止しております。

#### 【その他】

・非英語圏の留学生に、一般日本人学生と同じ英語の必修科目を取らせていますが、小学生の頃に学んだ英語ばかりで、意味がない授業とも言いたいです。簡単すぎる英語を学ばせるより、日本語を必修にするか、より学術的な英語を必修科目にしてほしいです。

➡学生からの要望を教員間で共有します。

・同じ日の1限と5限に必修の授業があると、他の予定を入れにくいので、授業の日を分けるか、必修の授業の間があまり空かないようにしてもらえると嬉しいです。

➡時間割は普遍教育科目や資格科目と調整のうえ、教室の使用状況等を勘案して組んでいるため、変更の難しい場合があります。

・一年に取れる単位の上限を緩めてほしい。

➡単位上限制（CAP 制）は、大学設置基準にもとづき、学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するために設定されています。実質的には卒業に必要な単位数を3年で履修できるように各年次の単位上限を設けており、これは多くの学部でも同様です。なお、成績優秀者については単位の上限を緩和しています。また、3年次編入生は4年次で卒業できるよう例外的に上限を設けておらず、先進科学プログラムも卒業要件との兼ね合いで上限を緩和しています。

### 3. 施設・設備に関すること（教室、Wi-Fi、図書館など）

#### 【Wi-Fi 関連】

・学校の Wi-Fi を使用すると接続が悪くなり、とても使いにくい。これは特定の場所というよりはほとんどどこに行っても同じような状態なので改善してほしいです。

・Wi-Fi の通信環境が悪く感じる。特にパソコンを使って作業する際に、読み込み速度がたびたび遅くなる。

・大学院棟の三階院演習室の wifi がほとんどとどかない

・文学部棟2階リフレッシュルームの Wi-Fi が接続しにくい。

・総合研究棟2階グラジュエイト라운ジの wifi が弱くて困っている。

➡千葉大学の無線 LAN は chiba-x と chiba-wpa2s の2つの回線があります。両方の回線で試して下さい。

### 【教室関係】

・文学部に関するのではないかもしれないが、総合校舎の4号館と5号館の窓や網戸が結構汚れているので掃除してほしいです。

・文学部棟1階102、103教室の清掃が行き届いていないと感じた。

→担当部署に対応を依頼します。

・文学部棟2階201教室のエアコンが効きすぎていて寒い

・文学部棟101はだいたいいつも寒いし、エアコンをつけっぱなしなのか湿気臭い

→ご自身でエアコンの設定を変えてください。授業中は、担当教員に申し出てください。臭いについては、担当部署に対応を依頼をします。

・文学部棟2階のリフレッシュルームが非常に臭う

・文学部棟2階の画像情報教室2の教室がいつも異臭が漂っている。

→担当部署に対応を依頼します。

・ライフセンターの女子トイレの水道がすぐに水が止まってしまう。また、石鹸も出にくい。

→担当部署に対応を依頼します。

・文学部棟を土日にも開いて欲しいです。図書館などは夏になると非常に暑くなる（冷房の効きが非常に悪く、閉館時間も早いため、非常に不便です）ため、勉強場所として文学部棟を開放していただけると本当に助かります。どうかお願いします。

→文学部棟は土日祝日事務室が閉室のため、解放することができません。今までどおり図書館をご利用ください。

・歴史学コースですが、図書館及び歴史学図書室の本はあまりにも古すぎて、論文やレポートを書く時に全然使えないです。より広い幅の図書を購入していただきたいです。例えばファッション史、貿易史、美術史など、ヨーロッパ史全般はもう少し英語や原文の文献がほしいです。

→千葉大学に希望する資料がない場合は、他の図書館の資料を利用したり、購入希望を申込むことが可能です。詳しいことは、図書館にお問い合わせください。

・文学部棟の1階に置いてあるオレンジ色のベンチを全ての階に置いていただきたいです。

→AEDに付属している機材（ベンチ）になります。設置している部署に要望を伝えます。

・冷水器が欲しいです。今の時代なら病気の感染リスクよりも熱中症のリスクを考えるべきだと思います。

➡ご自身で水筒・ペットボトルなどを用意するなどしてください。

・以前のように、オンライン授業（同時双方向）用のスペースを開放してほしい（マルチメディア会議室など）。

➡図書館等を利用してください。

・文学部棟・法政経学部棟に固定の自習室を設けてほしい。

➡リフレッシュルームや図書館を利用してください。

・法政経学部棟1階の廊下のアルペットが切れていて、2階にはアルペットがないので、それぞれ1ヶ所ずつアルペットを置いてほしい。

➡担当部署に対応を依頼します。

#### 4. 学生生活に関すること（学生支援、課外活動、就職活動、留学など）

##### 【留学】

・全員留学という仕組みが決まっているものの、自分の思った通りに行けない場合が多いため、抽選などの制度の改善が必要に感じる。

➡Moodle「2024-海外渡航全般及びENGINE 全員留学（学部生）」

令和6年度における学部生の「全員留学」の取扱いにかかるQ&AよりA3参照

全学募集プログラムは入学者数を超える募集枠を用意していますが、人気のプログラムに応募が集中すると希望のプログラムに参加いただくことができない状況です。募集枠は最小催行人数なども考慮しながら実績を踏まえて調整する必要があるため、ご理解願います。

なお、令和6年度からは、海外の大学が提供する既存のプログラムについて予め千葉大学が認定したプログラムを受講することで、全員留学認定を受けられる「認定プログラム短期留学」「中期語学力強化プログラム」がスタートしました。自分で調べて手続きをする必要がありますが、世界中の学生とともに学ぶことができますので、ぜひチャレンジしてみてください。また、自分で留学を計画して所属部局に申請・認定する制度もあり、同制度で留学した学生が海外で起業して活躍している事例もありますので、併せて検討してみてください。

・円安が長期的傾向となっている現在、学生の経済的・精神的負担の軽減のため、千葉大の学部から千葉大の大学院へ進学する場合、学部で留学しているならば大学院での留学を免除できるような制度があってもよいと思う。

➡大学院の場合についても、経済的に海外留学が困難であると認められる場合や、精神的

もしくは身体的理由により海外留学が困難であると認められる場合など、留学が困難な場合は、オンライン留学プログラムなどの留学代替プログラムが認められる可能性があります。大学院の海外留学が困難な場合の代替措置は、同様の教育効果のある国内実施プログラムの受講またはオンライン留学プログラムの受講、高度な語学力・コミュニケーション能力等が求められる国内業務の支援、オンラインもしくは国内で開催される国際学会等において行う研究発表や研究討論があります。(大学院に入学後再度大学院学務に確認をしてください)

・留学の方法について、個人での計画が可能であることを周知した方が良いと思う。また、学部ごとに留学案を持っている場合もあるようだが、周知が徹底されていない。

➔Moodleにて周知をしていますのでご確認ください。

・留学を任意にする、千葉大構内かオンラインで受けれる別の単位で振り替えられるようにする、あるいは費用を全額補助する、いずれかたるべき。

➔留学を任意にする、という点は現行の制度では認められていませんので、ご理解ください。代替措置については「留学が困難である」と認められた場合、文学部における留学代替措置科目または代替措置としてのオンライン留学プログラムを選択できることとなっております。また、経済的に渡航留学が困難な場合についても、入学年度・学年に関係なく、オンライン留学プログラムなどの留学代替プログラムが認められる可能性がありますので、指導(学年担当)教員や所属部局の学務窓口へぜひ相談してください。

・そもそも、必修単位である以上、費用は学費に含まれている筈である。したれば、渡航費や生活費は除くにしても、プログラムに係る費用は全額そちらから出すべきものの筈である。前年度から海外留学必須になったと聞かすが、2023年度入学生からの評価も芳しくない。資金面を考慮して安いプログラムを選択したが、抽選であぶれたという事例も聞く。文学部だけでも緩和措置をしてほしい。

➔令和6年度における学部生の「全員留学」の取扱いにかかるQ&AよりA2参照  
航空賃高騰や物価高で宿泊費用も値上がりしており、なるべく良心的な金額の大学を選んでいますが、中でも英語圏は他の地域よりも高額となる大学があります。  
千葉大学の全学募集プログラムでは、英語圏の大学によるアジアでのプログラムや、英語を母国語としない国での英語によるプログラムなど、比較的安価なプログラムの構築に努めていますので、選択肢を広げて検討してみてください。

・留学がどういうシステムでやっているのか、ややわかりづらい。どうすればいいのかわからない。

・留学についての説明を受けてない。どういうシステムなのかよくわからない。留学しないと卒業できないのであれば、もっと費用の援助をして欲しい。

→文学部履修案内、掲示板留学生課のウェブサイト、Moodleにて説明しています。ご確認ください。

・留学は二年次に行っておくことが望ましいとされているにも関わらず、抽選で上級学年が優先されてしまい、二年次には行けないことは、何も対策しなければ今後も続いていってしまう悪循環だと思います。

→令和6年度における学部生の「全員留学」の取扱いにかかるQ&AよりA3参照  
 全学募集プログラムは入学者数を超える募集枠を用意していますが、人気のプログラムに応募が集中すると希望のプログラムに参加いただくことができない状況です。募集枠は最小催行人数なども考慮しながら実績を踏まえて調整する必要があるため、ご理解願います。なお、令和6年度からは、海外の大学が提供する既存のプログラムについて予め千葉大学が認定したプログラムを受講することで、全員留学認定を受けられる「認定プログラム短期留学」「中期語学力強化プログラム」がスタートしました。自分で調べて手続きをする必要がありますが、世界中の学生とともに学ぶことができますので、ぜひチャレンジしてみてください。また、自分で留学を計画して所属部局に申請・認定する制度もあり、同制度で留学した学生が海外で起業して活躍している事例もありますので、併せて検討してみてください。

### 【就活】

・教職関係に関して、全体的にアナウンスが足りないように感じたり、例えば入門基礎政治学などモデルから履修登録できないものもあって親切でないように思う。ただできえ教職志望は少ないのだからその辺りの支援をもう少し充実させてほしい。

→Moodle、廊下掲示でガイダンスの案内をしています。確認して参加してください。

### 【課外活動】

・サークル会館の使用時間を延ばしてほしい。コロナ以前は24時間開放だったと聞いた。セキュリティなどの安全のためというのもわかるが、午前中は明けてもよいのではないだろうか。(中略)むしろ、サークル活動を午前にするのが可能になれば、時間の自由度が高まり、より効率的な学生生活を送れるのではないだろうか。それでも開けないというのならせめて土日だけでも使えるようにしてほしい。亥鼻キャンパスは土日でも使えるらしいのでもし開けてくれないというのなら正当な理由の説明をよろしくお願いします。

→担当部署に共有します。

## 5. その他（自由記述）

・文学部・法政経学部校舎内に、学生が時期に関係なく22:30頃まで使える自習スペースを設けてほしい。22:30という時刻は、千葉大付属図書館本館の平日（授業期間内）における

閉館時間を参考にした。なぜなら、私が知る限り、平日（授業期間内）の大学内で自習スペースとして一番遅くまで使えるのが千葉大付属図書館本館だったからである。土日（授業期間内）や夏季休業期間中は、この千葉大付属図書館本館も開館時間が短くなってしまい、夜まで大学内で勉強することができそうになく困っているので、検討してほしい。

・土・日曜に文学部棟を開放していただけると助かります。

➡施設管理の都合上難しいと考えます。

・食事を取るスペースが少ないので、時間を指定して図書館の一階部分を食事ができる場所とするなどの対策をしてほしい。

➡図書館内の飲食可能なスペースについてはホームページをご確認ください。

[https://alc.chiba-u.jp/entry/guide\\_honkan.html](https://alc.chiba-u.jp/entry/guide_honkan.html)

・文学部の学生支援課の中で少し高圧的な方がいて生徒の間でも少し困っている。もう少し柔らかな対応をしていただけるとこちらとしてもありがたい。

・学務室にいらっしゃる方に、ちょっと怖い方がいます。「クレーマーに対して毅然とした態度をとる」なら理解できるし、学生に対して過度に丁寧に接してほしいというものではありませんが、学生に対して上下関係はないものと考えます。

➡事務室へより丁寧な対応を求めますので、学生の皆さんにおいても、掲示等周知の確認、書類の提出期限をしっかりと守る等負担を軽減できるように協力をお願いします。

・学校の Google アカウントの Google ドライブに保存したものを学校外のアカウントの Google ドライブに移せるようにしていただけると助かります。

➡大学の Google アカウントにおいて制限はかけておりませんので、可能です。移行方法については、検索サイト等にてお調べください。

・国立西洋美術館同様、東京国立博物館のメンバーシップに加入してほしい。歴史学コースに在学しているため気軽に展示を見たい。

➡後援会の支援により国立美術館キャンパスメンバーズに加入していますが、支援額にも限りがあるため、美術館か博物館かどちらか一方に限定せざるをえない状況です。10年ほど前に学生の希望を調査した結果、美術館に決まりました。

以上